

本学では、2026 年度より数理・データサイエンス・AI への関心を高め、それらを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成する教育プログラムを実施し、受講します。

本プログラムは、2026（令和 8）年度 文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」に申請予定です。

【身につけることができる能力】

数理・データサイエンス・AI を実社会で使いこなすことができる基礎的な素養を身につけることができます。また、それらの知識・技能をもとに、自らの適切な判断・意思により AI 等の恩恵を享受し、これらを説明・活用できる思考力・判断力を身につけることができます。

・[数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）](#) ※文部科学省 HP

【履修方法】

本プログラムを履修するために特別な手続きは不要です。通常どおりの履修をしてください。

【プログラムの修了要件】

文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」におけるリテラシーレベル相当の科目が開講されています。本学で開講されているプログラム構成科目の単位を修得し、修了要件を満たし、所定の手続きを行うことが必要です。所定の手続きを行うことで修了証を取得することができ、学修した成果を自身の研究や就職活動時・就職後のキャリア等で活用することができます。詳細は、オリエンテーションにて確認してください。また、それぞれの科目の到達目標や成績評価・基準等は科目のシラバスを参照してください。

【対象授業科目】

「愛知学院大学短期大学部_数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」は本学開講科目のなかで必要な条件を満たした科目から構成されています。開講科目は以下の通りです。

「AI とデータサイエンス」（1 年開講科目）

※科目の詳細はシラバス[愛知学院大学 WebCampus](#) で確認してください。

【実施体制】

運営責任者：愛知学院大学短期大学部_学科長

プログラムの改善・進化：愛知学院大学短期大学部_教学委員会

自己点検・評価：愛知学院大学短期大学部_自己点検・自己評価委員会

「愛知学院大学短期大学部 数理・データサイエンス・AI教育プログラム」 取組概要

プログラムの目的

全学生を対象に数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それらを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成する。

概要

学生周知 ⇒ 履修登録 ⇒ 受講 ⇒ 単位修得

オリエンテーション
学生ガイド等

開講されるプログラムを構成する科目の単位を修得する

⇒ 修了証発行申請 ⇒ 修了証発行 ⇒ 活用

サポート体制

- ・授業内での質疑応答のほか、オフィスアワーやメール等授業時間外での相談・指導等の体制を整備
- ・プログラム修了者へのアンケートをもとに改善点等を検討し、プログラムの充実を図る

(担当部署：短期大学部事務室)

身につけることができる能力

- ①数理・データサイエンス・AIを実社会で使いこなすことができる基礎的な素養を身につける。
- ②それらの知識・技能をもとに、自らの適切な判断・意思によりAI等の恩恵を享受し、これらを説明・活用できる思考力・判断力を身につける。

プログラムを構成する科目

科 目

AIとデータサイエンス

運営組織

愛知学院大学短期大学部「教学委員会」において、プログラムの運営を行う。また、「自己点検・自己評価委員会」において、学生の修得状況やアンケートより、プログラムの改善や自己点検・評価等を行う。

AI時代に必要とされる、 「考えて説明できる歯科衛生士」へ。

～国家資格＋データサイエンス～

これからの医療現場で選ばれる力を、愛知学院大学短期大学部で。

歯科医療の現場では、治療結果や健診データ、AIによる診断支援など、さまざまな「データ」が活用される時代になっています。愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科では、国家資格の取得に加え、データやAIを「正しく理解し、患者さんに説明できる力」を身につけるためのデータサイエンス教育を行っています。数字や技術をそのまま信じるのではなく、専門職として判断できる歯科衛生士の育成を目指しています。

なぜ歯科衛生士に 「データ・AI」が必要なのか？

歯科医療の現場では、治療結果や健診データ、AIによる診断支援など、さまざまな「データ」が活用される時代になっています。愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科では、国家資格の取得に加え、データやAIを「正しく理解し、患者さんに説明できる力」を身につけるためのデータサイエンス教育を行っています。数字や技術をそのまま信じるのではなく、専門職として判断できる歯科衛生士の育成を目指しています。

これからの歯科衛生士に必要な力

- 健診結果をもとに、予防指導ができる
 - AIの結果をそのまま信じず、判断できる
 - 患者さんや他職種に、根拠をもって説明できる
- 👉 技術だけでなく、「考える力」と「伝える力」が求められています。

愛知学院短期大学の データサイエンス教育の特徴

特長① 大学だからできる「考える力」の教育

本学科では、プログラミングや難しい数学は扱いません。

その代わりに、

- ・この数字は何を意味しているのか
- ・AIの結果にはどんな限界があるのか

を**自分の言葉で説明できること**を重視します。

特長② 歯科・医療に特化した内容

扱う題材は、

- ・う蝕・歯周病
- ・口腔機能
- ・健診データ

など、**歯科衛生士の仕事に直結した内容**です。

「学んだことが現場でつながる」実感が得られます。

特長③ AI時代でも“置き換えられない”人材へ

AIは便利な道具ですが、**最終的に判断し、説明するのは人間**です。

愛知学院大学では、**AIを理解し、使いこなし、過信しない歯科衛生士**を育てます。

実際に学ぶ授業内容（一部紹介）

「AIとデータサイエンス」（専門基礎科目）

- 医療や歯科で使われるデータの見方
- 健診結果やグラフの正しい読み取り方
- AIとは何か、できること・できないこと
- 個人情報や医療倫理の考え方

👉 「難しそう」と感じる必要はありません。

基礎から、丁寧に学べる授業です。

👉 「難しそう」 → 「なるほど！」 に変わる授業です。

こんな学生におすすめ

- 👉 資格 + 将来につながる力を身につけたい
- 👉 医療 × AI・データに興味がある
- 👉 患者さんにきちんと説明できる歯科衛生士になりたい
- 👉 チーム医療で頼られる存在になりたい

保護者の方へ

医療のデジタル化が進む中、「資格があっても将来大丈夫か」という不安を抱かれる方も少なくありません。

本学科では、**変化する医療環境に対応できる基礎力**を養い、長く現場で活躍できる歯科衛生士の育成を行っています。